

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 抗 HIV 薬の使用実態に関する後ろ向き調査』

【研究の背景および目的】

抗 HIV 薬の開発、進歩は著しく、重篤な日和見感染症や悪性腫瘍によるエイズ発症で死亡される患者さんは少なくなってきました。一方で、予後の劇的な変化により、血管疾患、慢性腎臓病、骨代謝疾患などの慢性疾患の増加が問題となってきました。しかしながら、慢性疾患の増加に伴う併用薬の増加、併用薬との相互作用・副作用の増加に関する詳細な報告は未だ少ないのが現状です。

そこで、東邦大学医療センター大森病院薬剤部では、抗 HIV 薬の使用状況を薬学的視点で検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、抗 HIV 薬使用患者様における併用薬による相互作用や、副作用等を考慮した治療戦略を考える上で有用な情報となることが期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2008 年 1～12 月、2018 年 1～12 月に東邦大学医療センター大森病院において、抗 HIV 薬の処方を受けた方を対象とします。

方法は、対象となる患者さんの診療録から、決められた調査項目を過去の診療データのみから収集し、評価します。

今回の研究で得られた成果を、医学または薬学的な専門学会や専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用する事を了承されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 薬剤部

主任 横尾卓也

電話 03-3762-4151 内線 3489